

# 扇風機やミストシャワーを

公明党 代表質問  
木村 晴恵



教育長 有効な手段と考えている



▲熱中症対策としてミスト散布器  
(福崎町立高岡小学校)

**問** 近年夏場の気温が上昇し続けている。安全・安心な学校生活ができるような対応が必要である。小・中学校の全教室に扇風機の設置ができないか。  
**答** 今後も電力の不足が危惧される現状を勘案すれば、有用な対策であると認識しており検討しているところである。  
**問** ミストシャワーは長い管に一定間隔に開けられたノズルから水道水が霧状に噴射される。蛇口に直接つなげて、水道圧で使用するため安価で

涼感とともに気化熱で周囲の気温を二、三度下げられる効果がある。熱中症対策として導入すべきだ。  
**答** 簡易に工夫して設置している学校もある。今の簡易ミストシャワーで効果があると考えているが、学校、各園と話し合いをしていきたい。  
**学校での防災教育の充実を**  
**教育長** さらに防災意識を高めていく

**問** 先の東日本大震災を受け防災教育の重要性が再確認されている。地域の実情にあった防災教育や防災対策の推進に全力で取り組むべきである。  
**答** 大震災の映像記録などをみることで危機意識を高め、避難訓練の意義や確認事項を学んでいる。両中学校に被災地から講師を招き、講演会を開催。  
**問** 現在行っている防災訓練などの内容は。  
**答** 各学校園単位で、地震、火災、津波を想定して実施している。

# 町民プールの再開を

日本共産党  
松岡 光子



教育長 存続か廃止かを検討中



▲継続か廃止かを検討されている町民プール正面入口

**問** 暑い夏、水とたわむれ涼を楽しむ貴重な施設である町民プール。安全上、ニーズの多様化、設備面の充実を考慮すれば大きな改修・増設が必要とされるが、総合的に検討した項目・内容・費用などの結果は。  
**答** 過装置や配管設備は更新、プール水槽は補修か更新、管理棟は改修、プールサイド設備は更新。増設が必要であり、工事費は約2億5千万円となる。  
**問** 今後の町民プールに

ついて実施されたアンケートの内容が「プールがなくてもいい」の答えを誘導する質問だと怒りの声がある。集計結果は。  
**答** 回収率は40.1%。「継続すべき」は36.1%、「なぐてもよい」は53.2%であった。  
**問** 再開の考え、時期は。  
**答** 町民プール検討片内委員会、アンケート結果やプール現況調査報告をもとに検討中であり、結論は出ていない。  
**はり・きゆう・マッサージ施設費助成を**  
**理事** 助成復活の考えはない

**問** 9月議会以後、特に、はり・きゆう・マッサージ施設費事業助成復活を強く望む声がある。この事業の開始から終了に至る経緯、復活の考えは。  
**答** 高齢者の健康保持、施術者の生業安定を目的として昭和56年から実施。目的が達成したことにより平成17年から5年間、段階的に廃止したもので、復活の考えはない。

# 支援センターの設置検討状況は

青雲21  
宮宅 良



柘田理事 効率的なセンターの設置を検討



▲共生社会の実現を目指し策定された「障害者計画」

**問** 「第2期播磨町障害者計画」に基づく基幹相談支援センターや権利擁護支援センターは機能や役割、運営経費、運営形態などを検討中。虐待防止センターはセンター業務を福祉グループで行っている。なお、さまざまなセンターを造ることではなく、効率的で住民の方にわかりやすいセンターの設置を検討したい。  
**答** 基幹相談支援センターと権利擁護支援センターは機能や役割、運営経費、運営形態などを検討中。虐待防止センターはセンター業務を福祉グループで行っている。なお、さまざまなセンターを造ることではなく、効率的で住民の方にわかりやすいセンターの設置を検討したい。

**問** 住宅の敷地と町道の間にあるL形側溝などの段差が障害となり、一人で敷地から外へは出られない。介助者にとっても負担となる住宅環境もある。バリアフリータイプへの改修を。  
**答** 介護保険給付対象者の特定疾病者との整合性から、「重度障害者住宅改修費給付事業」の給付対象について検討したい。

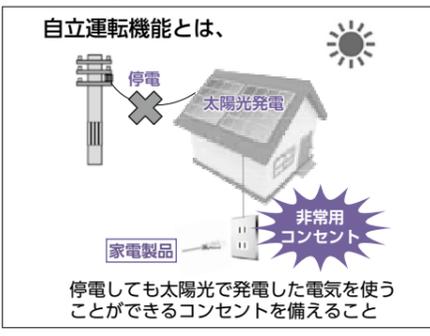
**地域避難支援計画を**  
**柘田** 協議をしながら進めてくる  
**問** 避難支援対象者の迅速かつ安全な避難を図るため、地域で活動する団体などによる地域避難支援計画やマニュアル作成に対する支援は。  
**答** 本年度は、古田東自治会区域をモデルとして自主防災組織、自治会、民生委員・児童委員と協議をしながら進めている。  
**側溝のバリアフリー改修を**  
**柘田** 改修費給付対象者について検討

# 太陽光発電に自立運転機能導入を

無所属  
山本 雅之



三村理事 他の方法も含め検討したい



▲災害時に有効な非常用コンセント

**問** 太陽光発電は、自立運転機能を備えていると、災害や停電などの緊急時に、発電した電気を使うことができる。災害時避難所となる小中学校は、自立運転機能を備えているのか。今後の導入は。  
**答** 全小中学校に太陽光発電を設置しているが、自立運転機能はない。機能導入には高額の整備費用が必要で、利用に制限もある。しかし、避難所では照明など必要となるので、他の方法も含め検討したい。  
**問** 防災時に有効な太陽光発電を、今後どのような

に一般家庭へ普及促進していくのか。  
**答** 平成22年度途中から補助制度がある。今後は同機能導入を推奨したい。  
**なぜ防災会議が未設置だったのか**  
**三村** 国・県の動向を注視していた  
**問** 災害対策基本法で義務付けられた播磨町防災会議が、1年半設置されなかった理由は。  
**答** 東日本大震災による国・県の動向を注視し、町防災計画を修正する予定だった。開催しなかったのは、大幅な計画見直しに取り組んでいたからである。  
**問** なぜこの間、委員委嘱しなかったのか。  
**答** 防災計画の変更のために来てもらうので、こういう結果になった。  
**問** 設置しないときは報告しないことが定められているが県へ報告したのか。  
**答** 報告はしていない。防災計画を作るのが最終課題と考える。